

フィレンツェ発のルネサンス、 そしてバロックの チェンバロ音楽

Program プログラム

- ✿ 作曲者不詳(16世紀前期 ローマ)「この谷間にはない」
- ✿ G.フレスコバルディ バレット/コレンテ/パッサカーリ ホ調
トッカータ へ調
- ✿ D.スカルラッティ ソナタ 2つのソナタ 変ホ長調
(K.192 & K.193)
- ✿ J.H.フィオッコ アンダンテとアレグロト長調
- ✿ B.ガルツピ ソナタ ハ長調

他



チェンバロ：中野 振一郎

©Yuri Manabe

2026.2.6 金

19:00 開演 (18:00 開場)

京都コンサートホール アンサンブルホール ムラタ

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地の26
地下鉄烏丸線「北山」駅下車①③番出口より南へ徒歩5分

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※都合により曲目を変更する場合があります、あらかじめご了承ください。

※お出かけの際は、便利な市バス・地下鉄をご利用ください。

主催：京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年記念事業実行委員会 共催：京都市

京都・フィレンツェ姉妹都市提携60周年を記念して、
全席ご招待いたします。(要申込・全席自由)

申込方法

京都いつでもコールへ電話、FAXまたは
申込フォームにてお申し込みください。

TEL：075-661-3755

FAX：075-661-5855

申込フォーム：右の二次元コードから



必要事項

郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、
同伴者数(1名まで)

申込期間

● 第1次募集(多数抽選)

令和7年11月19日(水)～12月14日(日)

※第1次募集は、京都市内に居住、通勤または通学の方のみを
対象とさせていただきます。

※当選者には、12月中に当選はがきを発送します。

● 第2次募集(先着)

令和7年12月23日(火)～令和8年1月20日(火)

※第1次募集で定員に達した場合、第2次募集は実施しませんのでご注意ください。

※申込者には、1月中に通知はがきを発送します。

京都市とフィレンツェ市は、1965年に姉妹都市提携を締結し、今年度60周年を迎えました。

フィレンツェは、ルネサンス発祥の地としての歴史を背景に、「芸術の街」として知られ、世界的に有名な美術館や建造物を有するほか、オペラやクラシックコンサートが盛んに行われています。

フィレンツェで始まったルネサンス、そして、その後のバロックの音楽を彩った、美しいチェンバロの音色をお楽しみください。



中野 振一郎 *Profile*

1964年京都生まれ。1986年桐朋学園大学音楽学部演奏学科（古楽器専攻）卒業。1990年4夜連続独奏会『ヨーロッパ・チェンバロ音楽の旅』により「大阪文化祭金賞」受賞。1991年フランス『ヴェルサイユ古楽フェスティバル』のクーブラン・サイクルに出演。欧米を代表する名手とともに「世界の9人のチェンバリスト」に選出。1992年アメリカ「パークレー古楽フェスティバル」に最年少で招聘される。その後も、イギリス（ウイグモア・ホール、BBCジャパン・シーズン）、ドイツ（ライプツィヒ・バッハ・フェスティバル）、チェコ等、欧州での招聘演奏旅行を続ける。「例外のチェンバリスト」「耳の御馳走」等、各地で好評を博す。デビューから現在に至るまで、国内古楽シーンを常に牽引している世界的チェンバリスト。『J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲(2000年)』『パーセル作品集(2009年)』で、レコード・アカデミー賞に輝くなど、レコーディング作品における高いクオリティにも定評がある。2020年に岐阜県のサラマンカホールでCD収録を開始した《フランソワ・クーブラン:クラヴサン曲全集(全6巻)》が2025年に完成。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学で後進の指導に当たる。受賞歴は大阪文化祭金賞、文化庁芸術祭音楽部門・新人賞、京都府文化賞、兵庫県芸術奨励賞、文化庁芸術祭・大賞 他。名前は朝永振一郎に由来。

Message

今回は京都とフィレンツェが姉妹都市60周年という素晴らしい記念企画へ参加させていただけますことに心より感謝いたしております。

全ての西洋文化の源がフィレンツェとともに、イタリアであると言っても過言ではないでしょう。
ルネサンス、バロック、オペラ…。

そして私の「チェンバロ」もイタリアで生まれました。
チェンバロは爪(プレクトラム)で弦をはじいて音を出す撥弦楽器。西洋のお琴ですね。16~18世紀までヨーロッパの「宮廷の華」として絶大な人気を誇っていた鍵盤楽器です。この鍵盤楽器というアイデアも西洋、特にイタリアの発明といえましょう。やがてチェンバロはフランス革命以後、人気の座をピアノに奪われてゆきます。この時代の流れや、同じ鍵盤楽器であることから、よく「チェンバロはピアノの前身」という誤解が広まっています。これは全くの間違いです。チェンバロとピアノは、それぞれのルーツが異なります。ピアノは弦をたたいて音を出す楽器。両者は美意識の違う楽器なのです。ちなみにこのピアノを発明したのもイタリアなのですが…。

本コンサートでは、チェンバロが産声を上げたルネサンス期イタリアの作品、そしてバロック期にイタリア人が作曲し、やがて他のヨーロッパ諸国に輸出していった楽曲等を中心に演奏いたします。

イタリアチェンバロ音楽の夕べです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



京都コンサートホール アンサンブルホール ムラタ



〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地の26(地下鉄烏丸線「北山」駅下車①③番出口より南へ徒歩5分)